

# 台風19号について

森 建 人



上回る総降水量365ミリの記録的な大雨となったことが要因と考えている。

〔質問〕台風19号は広い範囲で記録的な大雨となり、想像を超える被害が東日本各地で起こった。

本市でも甚大な被害が発生したことから、今回の被害を教訓とし、これからも起きるであろう災害の防災・減災に努めなければならぬと考える。

台風19号被害の要因は、どのようなことと捉えているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕台風19号被害は、24時間降水量がこれまでの観測史上1位だった昭和61年8月の台風10号、いわゆる8・5豪雨での263ミリと比べ、それを100ミリ以上

上回る総降水量365ミリの記録的な大雨となったことが要因と考えている。

〔質問〕台風19号に関する情報発信方法を伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕緊急速報メールやエリ

アメール、しろいし安心メールのほか、宮城県総合防災情報システムに

避難所の開設状況、避難勧告などを登録することでテレビやラジオから情報が流れ、市のホームページにおいても

情報発信を行なった。

〔質問〕福祉避難所があるのか伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕福祉避難所は、災害時に必要に応じて設置される避難施設であり、一般の指定避難所での対応が困難な要援護者のために、市内16福祉施

設と災害時における要援護者の受け入れ等の協力に関する協定に基づき、受け入れ先施設の被害状況や受け入れ可能状況を把握した上で、受け入れの協力をお願いしているところである。

もし、福祉避難所が必要であれば、各避難所から無線等の報告をいただき、その対応に当たることになるが、今回は避難所からの要請がなかったことから、福祉避難所は開設していない。

〔質問〕河川の監視カメラはあるのか伺う。

〔答弁〕〔危機管理課長〕七ヶ宿ダムの監視カメラ2台から白石川のライブ映像が確認できる。

また、監視カメラ以外にも、河川水位計が国、県において10カ所の河川に設置されていることから、水位情報を利用して避難の状況判断に活用している。

〔質問〕昭和56年に供用を開始し、平成14年に廃止になるまで約21年間稼働した旧白石衛生センター第二事業所は、福岡弥治郎地区にその廃止から約17年間、そのままの状態施設があり、老朽化が進んでいる。

早期に解体を検討すべきではないかと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕本施設は老朽化が進んでおり、解体すべきものと考えている。しかし、解体には多額の費用がかかり、本市の現在の厳しい財政状況から、今すぐの解体は困難である。

# 旧白石衛生センター第二事業所について

佐藤 秀行



〔質問〕昭和56年に供用を開始し、平成14年に廃止になるまで約21年間稼働した旧白石衛生センター第二事業所は、福岡弥治郎地区にその廃止から約17年間、そのままの状態施設があり、老朽化が進んでいる。

早期に解体を検討すべきではないかと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕本施設は老朽化が進んでおり、解体すべきものと考えている。しかし、解体には多額の費用がかかり、本市の現在の厳しい財政状況から、今すぐの解体は困難である。

〔質問〕白石川緑地公園のトイレ改築について、第425回定例会で一般質問しているが、その後の進捗状況を含め、今後の取り組みを伺う。

〔答弁〕〔市長〕老朽化により塗装が大分傷んでいることから、市民が快適に利用できるよう、外觀の改修と合わせて簡易水洗化への改善を令和2年度の実現に向け、前向きに検討していきたい。

〔質問〕仙台大学との連携について

〔答弁〕〔市長〕仙台大学との連携を深めていくことは、地域の活性化、交流人口の増加につながると考える。

〔質問〕仙台大学との連携について

〔質問〕仙台大学との連携や交流を深めていくことは、地域の活性化、交流人口の増加につながると考える。